

令和元年度決算の概要

あらまし

令和元年度の決算の状況は、一般会計の実質収支額が288億48百万円、特別会計（公営企業会計（法適用）除く。以下同じ。）の実質収支額が119億59百万円でした。一般会計においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の好調な企業業績による法人二税の増加などにより、実質収支額は黒字を維持しました。

なお、平成30年度から2年連続で財政調整基金からの繰入は行っておりません。

また、減債基金の令和元年度末の積立不足額は1,317億28百万円となり、前年度から293億64百万円減少しました。

第1表

令和元年度決算状況

（単位：百万円）

区 分	予 算 現 額 (A)	歳 入 決 算 額 (B)	歳 出 決 算 額 (C)	歳 入 歳 出 差 引 額 (B) - (C) = (D)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (E)	実 質 収 支 額 (D) - (E)
一 般 会 計	2,515,947	2,481,123	2,439,588	41,535	12,686	28,848
特 別 会 計	2,711,927	2,712,642	2,697,291	15,351	3,392	11,959
合 計	5,227,874	5,193,765	5,136,880	56,885	16,078	40,807

一 般 会 計

令和元年度の一般会計決算の状況は、第2表のとおりです。

歳入総額は2兆4,811億23百万円、前年度から180億24百万円増加（増減率+0.7%）しました。歳出総額は2兆4,395億88百万円、前年度から81億51百万円減少（増減率△0.3%）しました。

歳入歳出差引の形式収支額415億35百万円から、歳入総額の中に含まれる令和2年度の事業に充てなければならない財源（翌年度へ繰り越すべき財源）を差し引いた実質収支額は288億48百万円、前年度から239億21百万円増加しました。

なお、一般会計決算額の推移は、第3表のとおりです。

第2表

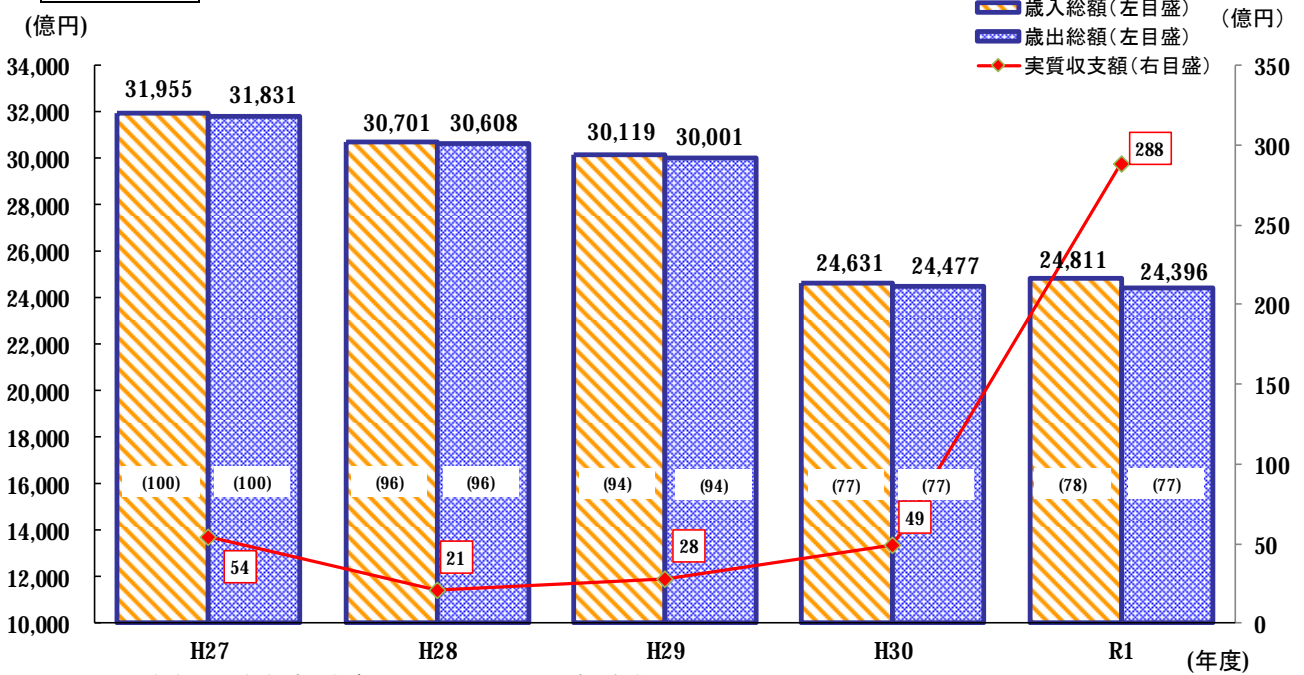
一般会計決算の状況

（単位：百万円）

	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	比較	
			増減額 (A) - (B) = (C)	増減率 (C) / (B) %
予 算 現 額 (1)	2,515,947	2,512,983	2,964	0.1
歳 入 総 額 (2)	2,481,123	2,463,099	18,024	0.7
歳 出 総 額 (3)	2,439,588	2,447,739	△ 8,151	△ 0.3
差 引 (2) - (3) = (4)	41,535	15,360	26,175	—
翌年度へ繰り越すべき財源 (5)	12,686	10,433	2,254	—
実 質 収 支 額 (4) - (5) = (6)	28,848	4,927	23,921	—

第3表

一般会計決算額の推移



(注) 1 () 内の数字は、H27を100とした場合の指数。
 2 各年度の歳入は、翌年度へ繰り越すべき財源を含む歳入総額。

■ 歳入

令和元年度の一般会計歳入決算の状況は、第4表のとおりです。

予算現額2兆5,159億47百万円に対して、収入済額は2兆4,811億23百万円、前年度から180億24百万円増加し、収入率は98.6%となりました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の好調な企業業績による法人二税が283億12百万円、増加したことなどによるものです。

なお、予算現額と収入済額の差が大きいものは、国庫支出金(△236億32百万円)、府債(△113億62百万円)などです。

第4表

一般会計歳入決算の状況

(単位：千円)

款名	令和元年度						平成30年度		比較 (B)-(C)
	予算現額		収入済額		収入率 (B)/(A)	比較 (B)-(A)	収入済額		
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比			金額 (C)	構成比	
府	1,299,827,000	51.7	1,303,891,596	52.5	100.3	4,064,596	1,277,829,588	51.9	26,062,008
うち法人二税	466,090,000	18.5	470,166,222	18.9	100.9	4,076,222	441,854,229	17.9	28,311,993
地方譲与税	152,910,000	6.1	152,989,463	6.2	100.1	79,463	156,057,887	6.3	△ 3,068,424
市町村たばこ税府交付金	235,648	0.0	235,648	0.0	100.0	0	339,800	0.0	△ 104,152
地方特例交付金	11,434,771	0.5	10,408,346	0.4	91.0	△ 1,026,425	3,719,332	0.1	6,689,014
地方交付税	247,150,057	9.8	247,773,177	10.0	100.3	623,120	235,973,940	9.6	11,799,237
交通安全対策特別交付金	1,674,499	0.1	1,664,417	0.1	99.4	△ 10,082	1,710,308	0.1	△ 45,891
分担金及び負担金	4,900,159	0.2	4,398,656	0.2	89.8	△ 501,503	4,215,681	0.2	182,976
使用料及び手数料	31,936,717	1.3	31,091,403	1.3	97.4	△ 845,314	31,649,352	1.3	△ 557,949
国庫支出金	215,947,193	8.6	192,315,177	7.7	89.1	△ 23,632,016	185,043,790	7.5	7,271,387
財産収入	14,383,720	0.6	14,579,448	0.6	101.4	195,728	8,971,389	0.4	5,608,059
寄附金	1,361,035	0.0	1,317,665	0.0	96.8	△ 43,370	1,214,002	0.0	103,664
繰入金	18,733,233	0.7	16,586,733	0.7	88.5	△ 2,146,500	20,929,283	0.8	△ 4,342,550
繰越金	10,432,511	0.4	10,432,511	0.4	100.0	0	8,919,541	0.4	1,512,970
諸収入	262,226,743	10.4	262,006,540	10.6	99.9	△ 220,203	285,224,913	11.6	△ 23,218,373
府債	242,794,000	9.6	231,432,197	9.3	95.3	△ 11,361,803	241,300,333	9.8	△ 9,868,136
合計	2,515,947,286	100.0	2,481,122,978	100.0	98.6	△ 34,824,308	2,463,099,139	100.0	18,023,839

【参考】

府税収入の状況

(単位：千円)

区分	令和元年度						平成30年度			比較 (B)-(C)
	予算現額		収入済額		収入率 (B)/(A)	比較 (B)-(A)	収入済額			
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比			金額 (C)	構成比		
府民税	379,303,000	29.2	379,787,859	29.1	100.1	484,859	378,444,926	29.6	1,342,934	
個人	294,723,000	22.7	295,024,489	22.6	100.1	301,489	296,591,053	23.2	△ 1,566,564	
法人	81,498,000	6.3	81,772,277	6.3	100.3	274,277	76,933,270	6.0	4,839,007	
子割	3,082,000	0.2	2,991,094	0.2	97.1	△ 90,906	4,920,603	0.4	△ 1,929,509	
事業税	400,464,000	30.8	404,248,266	31.0	100.9	3,784,266	380,339,155	29.8	23,909,111	
個人	15,872,000	1.2	15,854,321	1.2	99.9	△ 17,679	15,418,196	1.2	436,125	
法人	384,592,000	29.6	388,393,945	29.8	101.0	3,801,945	364,920,959	28.6	23,472,986	
地方消費税	330,050,000	25.4	330,050,000	25.3	100.0	0	332,598,724	26.0	△ 2,548,724	
不動産取得税	41,259,000	3.2	41,327,140	3.2	100.2	68,140	35,226,648	2.8	6,100,492	
たばこ税	10,874,000	0.8	11,064,018	0.9	101.7	190,018	11,092,789	0.9	△ 28,771	
ゴルフ場利用税	1,372,000	0.1	1,359,179	0.1	99.1	△ 12,821	1,339,097	0.1	20,082	
自動車取得税	6,294,200	0.5	6,292,910	0.5	100.0	△ 1,291	11,797,582	0.9	△ 5,504,673	
軽油引取税	47,646,800	3.7	47,346,866	3.6	99.4	△ 299,934	47,717,842	3.7	△ 370,976	
自動車税	81,228,000	6.2	81,138,834	6.2	99.9	△ 89,166	78,471,140	6.1	2,667,694	
鉱区税	40	0.0	40	0.0	101.0	0	40	0.0	0	
固定資産税	40	0.0	43	0.0	108.0	3	8,878	0.0	△ 8,835	
狩猟税	7,920	0.0	8,275	0.0	104.5	355	8,294	0.0	△ 19	
宿泊税	1,304,000	0.1	1,237,344	0.1	94.9	△ 66,656	756,408	0.1	480,936	
旧法による税	24,000	0.0	30,821	0.0	128.4	6,821	28,065	0.0	2,757	
合計	1,299,827,000	100.0	1,303,891,596	100.0	100.3	4,064,596	1,277,829,588	100.0	26,062,008	

■ 歳出

令和元年度の目的別一般会計歳出決算の状況は、第5表のとおりです。

予算現額2兆5,159億47百万円に対して、支出済額は2兆4,395億88百万円、前年度から81億51百万円減少し、支出率は97.0%となりました。支出済額の構成比の高いものは、小・中・高等学校教職員の給与費や私立学校教育の振興補助金などを含む教育費が5,273億10百万円(21.6%)、府債の元利償還を行う公債管理特別会計に対する繰入金などを含む諸支出金が5,200億48百万円(21.3%)、介護給付費負担金や障がい者自立支援給付費等負担金などを含む福祉費が3,155億36百万円(12.9%)です。

なお、予算現額との差額のうち392億42百万円は、道路、河川等の建設事業などの一部の事業について、令和2年度へ繰り越しました。

第5表

一般会計歳出決算の状況(目的別)

(単位：千円)

款名	令和元年度						平成30年度			比較 (B)-(D)
	予算現額		支出済額		支出率 (B)/(A)	繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	支出済額		
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比				金額 (D)	構成比	
議会費	2,553,642	0.1	2,511,978	0.1	98.4	0	41,664	2,519,982	0.1	△ 8,003
総務費	114,209,360	4.5	111,547,772	4.6	97.7	96,023	2,565,566	106,960,333	4.4	4,587,438
福祉費	326,553,353	13.0	315,536,433	12.9	96.6	3,045,859	7,971,061	496,236,302	20.3	△ 180,699,869
健康医療費	281,079,523	11.2	278,909,764	11.4	99.2	129,400	2,040,359	73,155,298	3.0	205,754,466
商工労働費	242,212,966	9.6	241,758,194	9.9	99.8	13,704	441,068	260,959,388	10.7	△ 19,201,195
環境農林水産費	25,185,043	1.0	18,714,591	0.8	74.3	3,662,525	2,807,928	16,127,140	0.7	2,587,451
都市整備費	177,557,754	7.1	143,629,152	5.9	80.9	27,979,336	5,949,266	155,087,317	6.3	△ 11,458,165
住宅まちづくり費	10,639,300	0.4	9,293,346	0.4	87.3	651,212	694,742	6,245,593	0.2	3,047,753
警察費	271,919,552	10.8	268,827,629	11.0	98.9	0	3,091,923	265,402,819	10.8	3,424,810
教育費	540,788,462	21.5	527,310,405	21.6	97.5	3,216,346	10,261,711	530,769,221	21.7	△ 3,458,817
災害復旧費	2,364,865	0.1	1,501,258	0.1	63.5	447,709	415,898	4,918,809	0.2	△ 3,417,551
諸支出金	520,512,421	20.7	520,047,821	21.3	99.9	0	464,600	529,356,927	21.6	△ 9,309,106
予備費	371,045	0.0	0	-	-	0	371,045	0	-	-
合計	2,515,947,286	100.0	2,439,588,342	100.0	97.0	39,242,114	37,116,830	2,447,739,130	100.0	△ 8,150,787

令和元年度の性質別一般会計歳出決算の状況は、第6表のとおりです。

支出済額は前年度から81億51百万円減少しましたが、その主な要因は、制度融資預託金の減少などにより貸付金が205億88百万円、府営住宅建設事業の減少などにより建設事業費が90億8百万円、それぞれ減少したことなどによるものです。

支出済額の構成比の高いものは、後期高齢者医療関係経費などの公費負担事業や小・中・高等学校教職員の給与費や私立学校教育の振興補助金などを含む負担金、補助金、交付金等が8,248億27百万円（33.8%）、人件費が6,736億21百万円（27.6%）、公債費が3,259億82百万円（13.4%）です。

第6表

一般会計歳出決算の状況（性質別）

（単位：千円）

区 分	令和元年度		平成30年度		比較 (A) - (B)
	支出済額 (A)	構成比	支出済額 (B)	構成比	
人 件 費	673,620,906	27.6	672,616,512	27.5	1,004,394
物 件 費	63,479,355	2.6	61,573,231	2.5	1,906,124
扶 助 費	51,558,991	2.1	50,494,605	2.1	1,064,386
負担金、補助金、交付金等	824,826,607	33.8	821,941,791	33.6	2,884,816
維持補修費	14,256,149	0.6	16,439,161	0.7	△ 2,183,011
建設事業費	153,383,748	6.3	162,391,721	6.6	△ 9,007,973
出 資 金	10,108,130	0.4	6,546,060	0.3	3,562,070
貸 付 金	227,664,774	9.3	248,252,707	10.1	△ 20,587,933
積 立 金	38,215,755	1.6	34,849,408	1.4	3,366,348
繰 出 金	56,491,986	2.3	56,724,163	2.3	△ 232,177
公 債 費	325,981,941	13.4	315,909,772	12.9	10,072,169
合 計	2,439,588,342	100.0	2,447,739,130	100.0	△ 8,150,787

（注）府債の元利償還金は、公債管理特別会計を設置して経理しているが、ここに掲げる公債費は、公債管理特別会計への繰出金（減債基金への積立金を除く。）を含めたもの。

特別会計

令和元年度の日本万国博覧会記念公園事業特別会計ほか14特別会計の歳入歳出決算の状況は第7表、その前年度比較は第8表のとおりです。

第7表

特別会計歳入歳出決算の状況

（単位：千円）

会 計 名	予 算 現 額			収入済額 (B)	支出済額 (C)	収入率 (B) / (A)	支出率 (C) / (A)
	最終予算額	繰越額	計 (A)				
日本万国博覧会記念公園事業	2,480,322	78,781	2,559,103	2,593,334	2,387,701	101.3	93.3
就農支援資金等	9,554		9,554	46,640	9,407	488.2	98.5
大阪府営住宅事業	100,255,030	10,564,811	110,819,841	104,371,780	100,648,624	94.2	90.8
港湾整備事業	15,895,729	86,089	15,981,818	16,121,534	15,596,481	100.9	97.6
関西国際空港関連事業	19,229,419		19,229,419	19,211,785	19,211,782	99.9	99.9
箕面北部丘陵整備事業	2,373,636	68,163	2,441,799	2,699,541	2,330,201	110.6	95.4
不動産調達	4,649,134		4,649,134	4,726,819	4,649,132	101.7	100.0
市町村施設整備資金	11,519,407		11,519,407	11,519,410	11,518,838	100.0	100.0
公債管理	940,291,398		940,291,398	940,290,513	939,573,103	100.0	99.9
地方消費税清算	760,055,000		760,055,000	766,520,807	760,054,591	100.9	100.0
母子父子寡婦福祉資金	1,357,120		1,357,120	1,536,811	700,076	113.2	51.6
国民健康保険	839,708,966		839,708,966	837,613,593	837,491,158	99.8	99.7
中小企業振興資金	3,248,980		3,248,980	5,164,055	3,104,835	158.9	95.6
沿岸漁業改善資金	39,013		39,013	146,736	15,078	376.1	38.6
林業改善資金	16,321		16,321	78,734	275	482.4	1.7
合 計	2,701,129,029	10,797,844	2,711,926,873	2,712,642,093	2,697,291,282	100.0	99.5

第8表

特別会計歳入歳出決算前年度比較

(単位：千円)

会 計 名	歳 入			歳 出			歳入歳出差引	
	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	比較 (A) / (B) %	令和元年度 (C)	平成30年度 (D)	比較 (C) / (D) %	令和元年度 (A) - (C)	平成30年度 (B) - (D)
日本万国博覧会記念公園事業	2,593,334	3,962,481	65.4	2,387,701	3,961,535	60.3	205,634	945
就農支援資金等	46,640	54,757	85.2	9,407	12,929	72.8	37,234	41,828
大阪府営住宅事業	104,371,780	121,485,974	85.9	100,648,624	115,634,915	87.0	3,723,156	5,851,059
港湾整備事業	16,121,534	11,929,666	135.1	15,596,481	10,141,838	153.8	525,053	1,787,828
関西国際空港関連事業	19,211,785	17,212,127	111.6	19,211,782	17,212,122	111.6	3	5
箕面北部丘陵整備事業	2,699,541	16,959,365	15.9	2,330,201	16,529,697	14.1	369,341	429,667
不動産調達	4,726,819	5,937,327	79.6	4,649,132	5,859,640	79.3	77,687	77,687
市町村施設整備資金	11,519,410	12,020,430	95.8	11,518,838	12,019,879	95.8	573	551
公債管理	940,290,513	972,677,028	96.7	939,573,103	972,046,935	96.7	717,409	630,093
地方消費税清算	766,520,807	804,231,948	95.3	760,054,591	804,231,948	94.5	6,466,216	0
母子父子寡婦福祉資金	1,536,811	1,591,539	96.6	700,076	637,939	109.7	836,735	953,600
国民健康保険	837,613,593	844,305,314	99.2	837,491,158	836,929,541	100.1	122,434	7,375,773
中小企業振興資金	5,164,055	4,839,553	106.7	3,104,835	2,783,180	111.6	2,059,219	2,056,372
沿岸漁業改善資金	146,736	128,159	114.5	15,078	3,654	412.6	131,658	124,505
林業改善資金	78,734	77,534	101.5	275	291	94.5	78,460	77,243
証紙収入金整理	-	5,253,261	-	-	5,253,261	-	-	0
合 計	2,712,642,093	2,822,666,461	96.1	2,697,291,282	2,803,259,305	96.2	15,350,810	19,407,156

翌年度繰越額

令和元年度の一般会計繰越額の状況は第9表、特別会計繰越額の状況は第10表のとおりです。

令和元年度において予算計上したもののうち、事業の実施にあたって関係機関等との調整や市町村等の事業主体における事業の遅延などやむを得ない事情により年度内にその支出が終わらず、繰越明許費として令和2年度へ繰り越したものは、一般会計で392億18百万円、大阪府営住宅事業特別会計など3つの特別会計の合計で84億22百万円となりました。なお、事故繰越しとして令和2年度へ繰り越したものは、一般会計で24百万円、特別会計についてはありません。

第9表

令和元年度一般会計繰越額の状況

(単位：千円)

区分	款 名	事 業 名	翌年度繰越額	翌年度へ繰り越すべき財源
繰越明許費	総務費	観光トイレ整備事業費 ほか	96,023	95,869
	福祉費	児童福祉施設事業費 ほか	3,045,859	2,444,605
	健康医療費	災害時医療体制整備事業費 ほか	129,400	0
	商工労働費	海外トッププロモーション事業費 ほか	13,704	11,898
	環境農林水産費	大阪物(もん)グローバルブランド化促進事業費 ほか	3,662,525	599,121
	都市整備費	ダム建設費 ほか	27,979,336	8,655,280
	住宅まちづくり費	うめきたまちづくり推進費 ほか	651,212	564,862
	教育費	府立学校スマートスクール推進事業費 ほか	3,216,346	268,772
	災害復旧費	農林水産施設災害復旧費 ほか	423,709	39,808
		小 計		39,218,114
	事故繰越し		24,000	6,000
	合 計		39,242,114	12,686,215

第 10 表

令和元年度特別会計繰越額の状況

(単位：千円)

区分	会 計 名	翌年度繰越額	翌年度へ繰り越すべき財源
繰越明許費	日本万国博覧会記念公園事業特別会計	28,360	28,360
	大阪府営住宅事業特別会計	8,360,079	3,330,069
	港湾整備事業特別会計	33,569	33,569
	小 計	8,422,008	3,391,998
	事 故 繰 越 し	-	-
	合 計	8,422,008	3,391,998

主な財政分析指標等

令和元年度決算における主な財政分析指標等は、次のとおりです。

(地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政健全化判断比率等については、P.8～P.14参照)

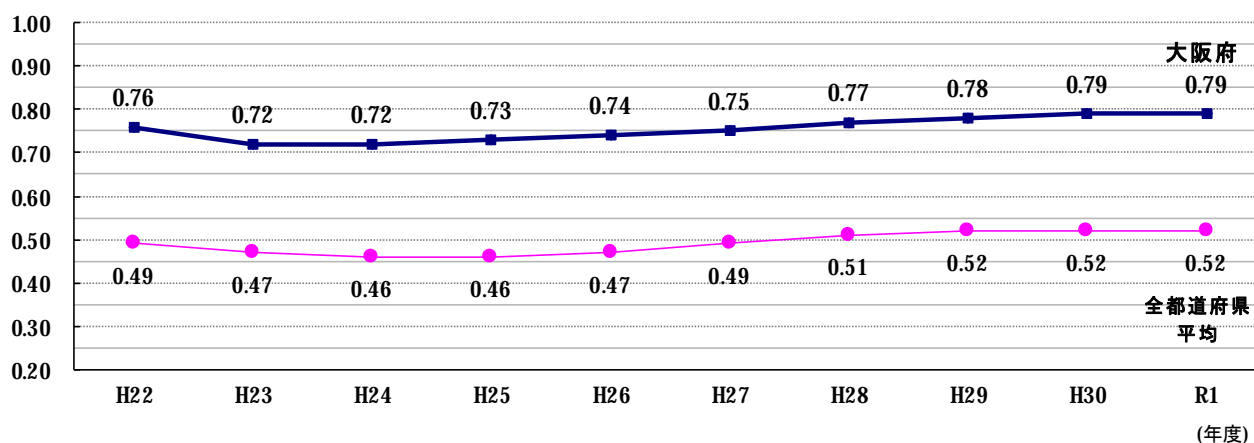
■ 財政力指数

財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値です。指数が高いほど財源に余裕があるものとされています。令和元年度の指数(小数点第3位未満四捨五入)は0.79であり、前年度と同水準で推移しました。

なお、財政力指数の推移は、第11表のとおりです。

第 11 表

財政力指数の推移



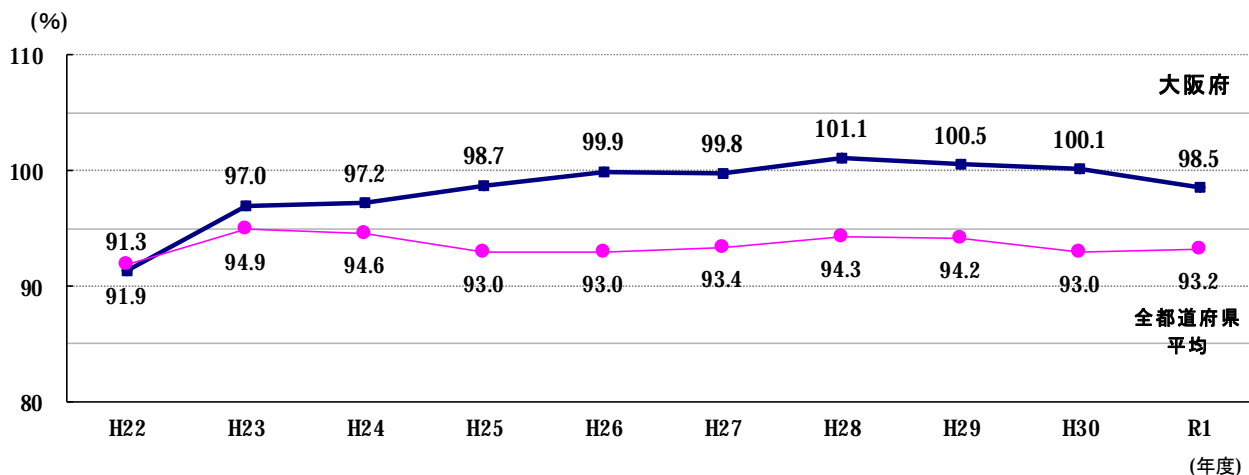
■ 経常収支比率

経常収支比率は、人件費、扶助費、公債費等の毎年経常的に支出される経費(経常経費)が、地方税、普通交付税などを中心とする経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、臨時財政対策債及び減収補填債(特例分)の合計額に占める割合であり、この割合が低いほど財政構造に弾力性があるとされています。令和元年度の比率は98.5%となり、前年度に比べて1.6ポイント減少しました。比率算定式の分母となる経常一般財源の収入総額は、法人二税の増加などにより前年度から3.3ポイント減少し、比率算定式の分子となる経常経費に充当された一般財源は、社会保障関係経費の増加などにより前年度から1.7ポイント増加しました。

なお、経常収支比率の推移は、第12表のとおりです。

第 12 表

経常収支比率の推移



(注) 経常収支比率の算定式は次のとおり。なお、経常一般財源の収入総額には、臨時財政対策債及び減収補填債（特例分）を含む。

$$\text{経常収支比率 (\%)} = \frac{\text{経常的経費に充当された一般財源額}}{\text{経常一般財源の収入総額}} \times 100$$

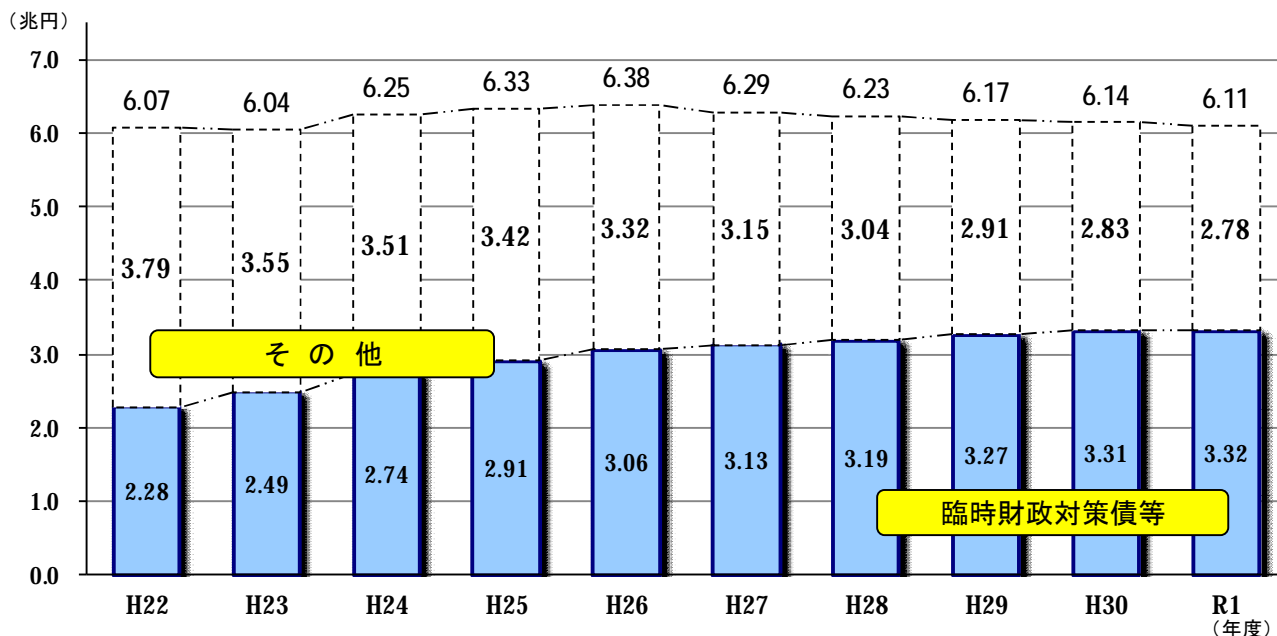
■ 府債残高

令和元年度決算における全会計の府債残高は6.11兆円、前年度から0.03兆円減少しました。府債残高のうち、臨時財政対策債等の残高は3.32兆円、前年度から0.01兆円増加する一方、臨時財政対策債等を除いた残高は2.78兆円となり、0.05兆円減少しました。

なお、全会計府債残高の推移は、第13表のとおりです。

第 13 表

全会計府債残高の推移



(注) 臨時財政対策債等とは、税または地方交付税の代替として発行する地方債（臨時財政対策債、減税補填債、減収補填債、臨時税収補填債）。